

ニキビ治療

尋常性痤瘡(ニキビ)に対する当院の治療についてご説明させていただきます。肌は元々、適度な潤いを保つために皮脂腺から脂分を出しています。ところが、ストレスなどで、脂の分泌が多くなりすぎたり、肌荒れで脂が出難くなると皮下に脂分が貯まってしまいます。これが白ニキビです。そこに、ニキビ菌などが感染してしまうと赤く膿を持った状態になってしまいます。これが赤ニキビで、一般に言うニキビです。当院では尋常性痤瘡治療ガイドラインの基づいて治療しています。

A: 色々な治療薬があります。列記します。

① イオウカンフルローション (容器に入った薄黄色い液体)

乾燥させて皮脂を取る薬です。赤いニキビに、容器を良く振って混濁液を綿棒で塗布して下さい。もし乾燥しすぎるときは中止してください。

③ アクアチムローション、またはクリーム
ニキビ菌を殺す外用液です。

④ ディフェリン

面皰(めんぼう) (ニキビの中に角質や皮脂、膿が貯まった状態)を改善します。

⑤ ペピオ

面皰の改善とニキビ菌を殺す作用があります。水ぶくれやヒリヒリ感が出る事があります。使用を中止してください。

⑥ ロキシシロマイシン

ニキビ菌を殺す抗生剤です。下痢を起こす場合は中止してください。

⑦ ニキビは慢性疾患ですので、漢方薬を用いる事があります。

* 生理で増悪する方 桃核承気湯 (朝晩1包)
その他 黄連解毒湯、十味敗毒湯、荊芥連翹湯など

ニキビの状態により①～⑦の治療を組み合わせ治療します

B: ニキビの状態による治療薬の使い分け

① 化膿が強い場合

- ・朝、夕洗顔後にアクアチム+ディフェリン塗布
- ・夕、洗顔後アクアチム+ペピオを感染しているところ全体に塗布
- ・朝晩、赤みの強いところにイオウカンフルローション塗布
- ・ロキシシロマイシン 朝夕、1錠内服

② 中程度の化膿

- ・朝、夕洗顔後にアクアチム+ディフェリン塗布
- ・ロキシシロマイシン 朝夕、1錠内服

③ 軽度の化膿

- ・朝、夕洗顔後にアクアチム+ディフェリン塗布

①～③は化膿治療が中心です。原則3カ月までです。

次は化膿がほぼ落ち着いた状態の治療です。

④ 面皰+小さい化膿

- ・朝、夕洗顔後にアクアチム+ディフェリン塗布
- ・夕、洗顔後にペピオを感染しているところ全体に塗布

⑤ 面皰のみ

- ・朝、夕洗顔後にディフェリン塗布

C: その他の注意点について述べます。

● 洗顔について (ニキビの基本治療)

ぬるま湯でニキビ用洗剤 (ノブ アクネソープなど) を用いてゴシゴシ洗顔し、皮脂を十分に洗い落としてください。何度、洗顔しても結構です。洗顔後に肌の乾燥が強い方は保湿剤を使用してください。

● 日常生活について

ストレスや慢性的便秘はニキビ増悪の大きな要因です。十分に睡眠を取り、繊維質の多い食事を摂り、また水分も十分に摂るように心がけてください。

● ニキビ後の色素沈着について

当院では美容外科の知識に基づき、色素沈着治療薬として、色素沈着治療を行います。ご希望の方はご相談下さい。

● シルクピーリングについて

赤みの強いニキビにはピーリングが最適な治療法です。角質層を除去する事で、早くきれいにニキビを治します。月に1回受けてください。費用は1回8,800円です。詳しくは当院にお尋ねください。

● 外用薬や内服薬が合わない方は、薬を中止して当院にお尋ね下さい。

芦屋JSクリニック

院長 水谷次郎

TEL 0797-311-3131